

# 沢井市民センターだより

令和5年8月号

発行 沢井市民センター（沢井 2-682）

電話・FAX 78-8304

## ☆沢井市民センター プールのご案内☆

暑い日が続きます…近くのプールで夏を満喫しましょう

開場期間 令和5年8月31日(木曜日)まで

開場時間 午前10時から午後5時まで

料金 金 無料(ただし、ロッカーの利用に100円が必要です。

使用後返却されます)

- ・小学2年生以下の利用は、高校生以上の付添が必要です。  
(付添人1名につき小学2年生以下の小人2名まで利用できます。)
- ・国道を横断する時は、必ず横断歩道をご利用ください。

問合せ スポーツ推進課 0428-22-1111内線2392・2393



## 【吉川英治記念館より】9月7日は吉川英治の命日「英治忌」です

この日は、青梅市吉川英治記念館の開館日にあたり、毎年、「英治忌」を開催しております。

「英治忌」は、国民的文学作家・吉川英治を偲ぶ重要な行事として昭和54(1979)年、吉川英治18回忌の時に主屋で初めて開催されてから、これまで地域の方々や来訪者の方に愛おしんでいただいております。今回も、吉川英治の写真を主屋に飾り、また、杉本健吉画伯の「涅槃図」などを特別に公開しています。

なお、市民の皆様をはじめ、より多くの方々に青梅市ゆかりの文豪である吉川英治の功績をいっそう讃えていただくため、今年度から9月7日当日は入館無料としましたので、この機会にぜひご来館ください。

日時 令和5年9月7日(木) 午前10時から午後5時まで

- 内容 (1) 入館無料 (2) 吉川英治写真パネル等を屋外通路や主屋内に展示  
(3) 英治忌限定の生菓子・「菊一花」および紅梅まんじゅうの販売  
(4) お茶会を開催し、お点前の披露および英治忌限定の生菓子の提供(有料)

## 「吉川英治について」

吉川英治は、昭和19(1944)年に青梅市吉川英治記念館が建つ、ここ西多摩郡吉野村(現在の青梅市柚木町)に転居し、約9年間、地域の方々との交流を大切に、家族と伴に生活していました。吉川英治は屋敷を「草思堂」と名付け、ここで代表作『新・平家物語』などを執筆しました。

吉川英治は、昭和37(1962)年にこの世を去るまでに『三国志』、『新書太閤記』、『宮本武蔵』、『私本太平記』など多くの歴史・時代小説を残し、現在まで読み続けられています。昭和35(1960)年には文化勲章を受章し、昭和37(1962)年には青梅市で二人目の名誉市民となりました。

【問合せ】青梅市吉川英治記念館 0428-74-9477

## ☆青梅市総合防災訓練の際に市民メール(訓練)が配信されます

- ・訓練日時 令和5年8月27日(日) 午前8時から午前9時30分まで
- ・参加機関 青梅市、第三支会、大門地区防災対策委員会 他
- ・その他 市民メール(訓練)が配信されます。

